

# 生物資源分野

## 研究領域

### 「生物資源の持続可能な生産と利用に資する研究」

採択年度	2016年	研究期間	5年間
研究課題名	ブルキナファソ産リン鉱石を用いた施肥栽培促進モデル構築プロジェクト		
研究代表機関	国際農林水産業研究センター 生産環境・畜産領域		
相手国	ブルキナファソ	主要相手国 研究機関	環境農業研究所
<b>研究課題の概要</b>			
<p>本研究は、ブルキナファソの在来リン鉱石を活用した国産リン肥料および地域適合型複合肥料の製造法を提案するとともに、その普及可能性を解明することを目的とする。具体的には、以下の4つの課題からなる。(1) 低品位のために従来原料として利用されてこなかった在来リン鉱石を加工し、安価で施肥効果の高いリン肥料、およびそれを主体としたNPK（チッ素・リン・カリウム）複合肥料の製造法を提案する。(2) 試作されたリン肥料および複合肥料の施肥試験から、施肥効率の高い施肥法を明らかにするとともに、対象地域において施肥栽培の普及可能性を解明する。(3) リン鉱石を加工せず直接利用するために、作物によるリン鉱石由来リンの吸収メカニズムを解明し、その知見を応用した技術化を図る。(4) これらの研究を通じて、リン鉱石の総合的有効利用法の技術パッケージの提案を行う。以上の研究成果をもとに、低投入型農業から持続的集約型農業への転換へ貢献することを目指す。</p>			